

「審判請求書」作成見本  
補正却下決定不服審判:商標  
弁理士が代理人の場合

【書類名】 審判請求書  
（【提出日】 令和 年 月 日）  
【あて先】 特許庁長官 殿

【審判事件の表示】

【出願番号】 商願〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇  
【審判の種別】 補正の却下の決定に対する審判事件

【商品及び役務の区分の数】 1

【審判請求人】

【識別番号】 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
【氏名又は名称】 商標 太郎

【代理人】

【識別番号】 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 商標 一郎

（【電話番号】 1 2 3 4－5 6 7 8）

（【ファクシミリ番号】 1 2 3 5－6 7 8 9）

【選任した代理人】

【識別番号】 1 9 0 0 0 1 2 3 5  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 代理 二郎  
【電話番号】 0 3－3 5 8 1－1 1 0 1

【連絡先】 担当

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 0 0 0 0 0 0  
【納付金額】 5 5 0 0 0

【請求の趣旨】 商願〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇について、令和〇〇年〇〇月〇〇日付でした補正に対して、令和〇〇年〇〇月〇〇日になした補正の却下の決定を取り消す。との審決を求める。

【請求の理由】

(1) 手続の経緯

.....

(2) 決定の理由の要点

.....

(3) 本願商標の説明と補正の説明

.....

(4) 要旨変更に係る争点の説明

本願については・・・・・・理由により商標登録されるべきである。

(5) 補正の根拠及び要旨の変更でない旨の説明

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(6) むすび

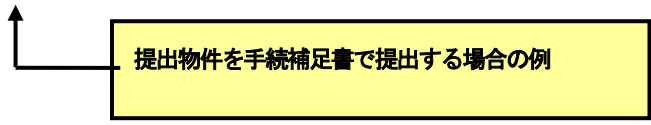
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【証拠方法】 証拠として・・・・・・・・

【提出物件の目録】

【物件名】 委任状 1

【提出物件の特記事項】 手続補足書により提出します。



「審判請求書」作成見本  
補正却下決定不服審判:商標  
弁理士法人が代理人の場合

【書類名】 審判請求書  
【提出日】 令和 年 月 日)  
【あて先】 特許庁長官 殿

【審判事件の表示】

【出願番号】 商願〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇  
【審判の種別】 補正の却下の決定に対する審判事件

【商品及び役務の区分の数】 1

【審判請求人】

【識別番号】 0000000000  
【氏名又は名称】 商標 太郎

【代理人】

【識別番号】 190001234  
【氏名又は名称】 弁理士法人 パテント国際特許事務所  
【代表者】 代理 一郎  
【電話番号】 03-3581-1101

【連絡先】 担当は弁理士 代理 二郎

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 000000  
【納付金額】 55000

【請求の趣旨】 商願〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇について、令和〇〇年〇〇月〇〇日付でした補正に対して、令和〇〇年〇〇月〇〇日になした補正の却下の決定を取り消す。との審決を求める。

【請求の理由】

(1) 手続の経緯

.....

(2) 決定の理由の要点

.....

(3) 本願商標の説明と補正の説明

.....

(4) 要旨変更に係る争点の説明

本願については.....理由により商標登録されるべきである。

(5) 補正の根拠及び要旨の変更でない旨の説明

.....

(6) むすび

.....

【証拠方法】 証拠として・・・・・・・・・・

【提出物件の目録】

【物件名】 委任状 1

【提出物件の特記事項】 手続補足書により提出します。

